

【現代風“組織一丸”マネジメント】シリーズ

組織は“作る”よりも“運営”の方が大変？

難しい人間関係の基本的な部分を見るための『まねじめんと』

【“組織作り”の実践】

組織は確かに、たとえば“営業”や“生産”、“業務”や“管理”等の“職務分担”や、責任者や管理者等の“役割”に、“人材をあてがう”ことで作り上げられます。

たとえば、Aさんを営業担当にし、Bさんに業務を任せ、Cさんを統括責任者にして、Dさんを現場管理者に据える等ということが“組織作り”の実践を意味するということです。

【作っただけでは組織は動かない】

しかし“組織作り”だけでは、経営陣の意図に従って動く組織にはならないケースの方が多いはず。たとえば、現場に何をさせ、何をさせないかを、一つ一つ判断して指導することなしに、一丸となって活動する時の“組織パワー”を發揮させることは難しいからです。

【“組織運営”の重要性】

そして、その“判断”や“指導”等を総称して、“組織作り”に対し、“組織運営”と呼ぶことができます。そして今、この“組織作り”と“組織運営”を意識的に分けて考える必要性が強くなっているのです。

【現場に“任せて”も解決しない問題】

それは、顧客や取引先ニーズの複雑化や商品の多様化が進む中で、しばしば、従来にはない“問題”が発生して、従来組織体制だけでは、なかなか対応できないケースが増えているからです。

今や、組織を作って“任せる”タイプの経営から、経営陣が“現場”に深く入り込んで“運営”を指導すべき状況が、あちこちの企業で見られるようになりました。

【ある企業経営者の“気付き”】

もちろん、そうした“問題”の少ない企業でも、今後の対応を考えた時、“組織運営”上で起きる“課題”を例示的にイメージしておくことは、非常に重要になって来ているかも知れません。

そこで、ある経営者が痛感された“組織運営上”の問題を、事例化したレポートをご用意させていただきました。

【ご希望者にはレポートを差し上げます！】

“マネジメント・レポート”としてご用意した5ページもののレポートを定期購読(有料)希望者には、お送りいたしますので、ご遠慮なくご一報頂きたいと思います。



社内の部署には、それぞれ“担当”や“役割”があります。しかし、そんな“個”の機能をいかに充実させても、それらの機能の“横の連携”がなければ、なかなか成果を出さないのが“組織”の特徴かも知れません。

そしてそれは“どんな高度な配線も電流なしには機能しない”という表現に集約できそうなのです。では“配線に電流を通す”ために、まず何から取り組めば良いのでしょうか。

ある経営者の“気付き”に焦点を当てました。

少数精鋭でビジネスに取り組む皆様、現代的な“人”マネジメントの視点から、重要なニュースやノウハウをお届けする月例『経営さぶりめんとニュース』にご意見やご感想をお寄せください！

行政書士・社会保険労務士へんみ事務所

TEL : 022-292-2351

FAX : 022-292-2352

URL : <http://www.henmi-adm.jp/>

わたくしたちは、“ヒト”に関する重要課題の提言を通じて、皆様方の経営をご支援申し上げます！